# 平成30年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月23日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 上 場 会 社 名 | 株式会社ヤマナカ | 上場取引所 | 名 |
| コ ー ド 番 号 | 8190 | URL | http://www.super-yamanaka.co.jp |
| 代　　表　　者 | (役職名)代表取締役社長 | (氏名)中野　義久 | |
| 問合せ先責任者 | (役職名)財務部長 | (氏名)清水　泰晴 | (TEL)052-937-9310 |
| 四半期報告書提出予定日 | 平成29年10月27日 | 配当支払開始予定日 | 平成29年12月１日 |

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無

四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

## １．平成30年３月期第２四半期の連結業績（平成29年３月21日～平成29年９月20日）

（１）連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年３月期第２四半期 | 49,524 | △0.4 | △32 | ― | △6 | ― | 44 | △72.3 |
| 29年３月期第２四半期 | 49,746 | △0.4 | 299 | △15.7 | 326 | △15.9 | 160 | 156.3 |

(注)　包括利益　30年３月期第２四半期　237百万円（47.9%）29年３月期第２四半期　160百万円（505.0%）

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年３月期第２四半期 | 2.32 | ― |
| 29年３月期第２四半期 | 8.35 | ― |

（注）　営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

（２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年３月期第２四半期 | 39,671 | 16,200 | 40.8 |
| 29年３月期 | 39,834 | 16,055 | 40.3 |

(参考) 自己資本　30年３月期第２四半期　16,200 百万円　29年３月期　16,055 百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年３月期 | ― | 4.00 | ― | 5.00 | 9.00 |
| 30年３月期 | ― | 5.00 | | | |
| 30年３月期(予想) | | | ― | 5.00 | 10.00 |

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## ３．平成30年３月期の連結業績予想（平成29年３月21日～平成30年３月20日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 100,800 | 0.9 | 300 | △52.1 | 350 | △51.4 | 190 | △60.5 | 9.93 |

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　―社（社名）　　、除外　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年３月期２Ｑ | 20,425,218株 | 29年３月期 | 20,425,218株 |
| ②　期末自己株式数 | 30年３月期２Ｑ | 1,281,077株 | 29年３月期 | 1,286,891株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 30年３月期２Ｑ | 19,140,173株 | 29年３月期２Ｑ | 19,238,880株 |

（注）　株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、平成30年３月期第２四半期及び平成29年３月期の「期末自己株式数」にそれぞれ119,100株、125,000株含めており、平成30年３月期第２四半期及び平成29年３月期第２四半期の「期中平均株式数」の計算において、それぞれ123,140株、24,456株を控除する自己株式に含めております。

※　四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（追加情報） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による積極的な経済・金融政策により、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調が継続しているものの、社会保険料のなどの負担増、年金・介護費用などの将来不安から家計の節約志向は根強く続いております。

食品小売業界におきましては、異業種・異業態との競争の激化、人口減少による市場規模の縮小など依然厳しい経営環境が続いております。

こうしたなか当社グループは、「経営の質を向上させ持続的成長を目指す」ことを平成30年３月期までの中期３ヵ年計画のテーマに掲げ、①当社の強みを最大限発揮、②店舗及び本部の生産性向上、③働き甲斐のある職場作りの３つを経営課題の軸として取り組んでおります。特に今期は“カスタマー・ファースト”を基本方針として、常にお客様視点で物事を考えることで全店が「お客様支持№１店舗」を目指しております。

商品政策では、消費者ニーズに対応して簡便化・健康・おつまみなどをテーマにした品揃えの強化に取り組み、カットフルーツコーナーやカット済み便利野菜の拡大、味付商品やレンジ調理商品などのコーナー展開、特定保健用食品や機能性表示食品などの取り扱いの拡大などに取り組みました。特にデリカ部門では連結子会社であるサンデイリー株式会社の米飯工場を活用することで米飯類の品揃え強化を図っております。

販売政策では、創業95周年企画として記念商品の販売や記念キャンペーンの開催などを実施してまいりました。また、お客様の精算時の利便性を高めるため、電子マネー機能を備えた自社ポイントカード「グラッチェプラスカード」を新たに５店舗で開始し、導入店舗数は平成29年９月末現在65店舗となりました。

店舗政策では、平成29年９月に大府フランテ館（愛知県大府市）の改装を実施し、お客様の日々の献立づくりをお手伝いする常設型調理実演コーナー「クッキングさぽ～と」を導入いたしました。「クッキングさぽ～と」は平成29年９月末現在15店舗（うちフランテ３店舗は「フランテーブル」）となりました。

以上のような施策を実施してまいりましたが、当第２四半期連結累計期間における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は495億24百万円（前年同期比0.4％減）、営業損失は32百万円（前年同期は２億99百万円の営業利益）、経常損失は６百万円（前年同期は３億26百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は44百万円（前年同期比72.3％減）となりました。

なお、当社グループは「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### （２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ１億62百万円減少し、396億71百万円となりました。これは主に投資有価証券が２億45百万円増加した一方、差入保証金が２億40百万円、現金及び預金が２億36百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ３億７百万円減少し、234億70百万円となりました。これは主に買掛金が５億29百万円増加した一方、有利子負債が８億25百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ１億45百万円増加し、162億円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が１億79百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比べ、２億35百万円減少し、30億48百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、12億38百万円（前年同期は、15億50百万円の収入）となりました。これは主に、減価償却費が６億74百万円、仕入債務の増加が５億29百万円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、４億17百万円（前年同期は、３億20百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が５億85百万円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、10億56百万円（前年同期は、７億19百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が15億６百万円であったことによるものです。

### （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想について、現時点においては、平成29年10月11日公表の予想数値に変更ありません。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成29年３月20日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成29年９月20日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,360 | 3,123 |
| 売掛金 | 1,177 | 1,218 |
| 商品及び製品 | 2,593 | 2,535 |
| 仕掛品 | 0 | 0 |
| 原材料及び貯蔵品 | 53 | 54 |
| 繰延税金資産 | 273 | 312 |
| その他 | 1,648 | 1,828 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 流動資産合計 | 9,106 | 9,072 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 8,566 | 8,559 |
| 土地 | 9,851 | 9,851 |
| その他（純額） | 1,406 | 1,358 |
| 有形固定資産合計 | 19,824 | 19,769 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 429 | 411 |
| ソフトウエア | 385 | 329 |
| その他 | 29 | 29 |
| 無形固定資産合計 | 844 | 770 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,397 | 4,643 |
| 差入保証金 | 5,082 | 4,841 |
| 繰延税金資産 | 6 | 6 |
| その他 | 575 | 560 |
| 貸倒引当金 | △51 | △51 |
| 投資その他の資産合計 | 10,010 | 10,001 |
| 固定資産合計 | 30,679 | 30,541 |
| 繰延資産 | 47 | 58 |
| 資産合計 | 39,834 | 39,671 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成29年３月20日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成29年９月20日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 5,362 | 5,892 |
| 短期借入金 | 1,295 | 1,295 |
| 1年内償還予定の社債 | 738 | 238 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,348 | 1,781 |
| 未払費用 | 1,158 | 1,222 |
| 未払法人税等 | 301 | 156 |
| 賞与引当金 | 314 | 357 |
| ポイント引当金 | 140 | 153 |
| 店舗等閉鎖損失引当金 | 111 | 111 |
| 資産除去債務 | 38 | 100 |
| その他 | 1,599 | 1,608 |
| 流動負債合計 | 13,407 | 12,917 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 3,206 | 3,687 |
| 長期借入金 | 3,168 | 2,929 |
| リース債務 | 245 | 188 |
| 繰延税金負債 | 627 | 801 |
| 役員株式給付引当金 | 23 | 21 |
| 退職給付に係る負債 | 732 | 645 |
| 長期預り保証金 | 924 | 898 |
| 資産除去債務 | 1,334 | 1,276 |
| その他 | 108 | 106 |
| 固定負債合計 | 10,370 | 10,553 |
| 負債合計 | 23,778 | 23,470 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,220 | 4,220 |
| 資本剰余金 | 6,538 | 6,538 |
| 利益剰余金 | 5,505 | 5,453 |
| 自己株式 | △1,973 | △1,969 |
| 株主資本合計 | 14,290 | 14,242 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,920 | 2,100 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △155 | △141 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,764 | 1,958 |
| 純資産合計 | 16,055 | 16,200 |
| 負債純資産合計 | 39,834 | 39,671 |

## （２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成28年３月21日<br>至 平成28年９月20日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成29年３月21日<br>至 平成29年９月20日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 47,186 | 46,930 |
| 売上原価 | 35,148 | 35,246 |
| 売上総利益 | 12,038 | 11,683 |
| 営業収入 | 2,559 | 2,594 |
| 営業総利益 | 14,598 | 14,278 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,299 | 14,310 |
| 営業利益又は営業損失（△） | 299 | △32 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9 | 10 |
| 受取配当金 | 32 | 32 |
| 持分法による投資利益 | 6 | 7 |
| 情報提供料収入 | 25 | 25 |
| その他 | 33 | 32 |
| 営業外収益合計 | 108 | 108 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 51 | 36 |
| その他 | 29 | 45 |
| 営業外費用合計 | 81 | 82 |
| 経常利益又は経常損失（△） | 326 | △6 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 23 | 205 |
| 特別利益合計 | 23 | 205 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 25 | 26 |
| 特別損失合計 | 25 | 26 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 324 | 172 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 158 | 77 |
| 法人税等調整額 | 5 | 50 |
| 法人税等合計 | 163 | 128 |
| 四半期純利益 | 160 | 44 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 160 | 44 |

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成28年３月21日<br>至 平成28年９月20日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成29年３月21日<br>至 平成29年９月20日） |
|---|---|---|
| 四半期純利益 | 160 | 44 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △9 | 179 |
| 退職給付に係る調整額 | 9 | 13 |
| その他の包括利益合計 | 0 | 193 |
| 四半期包括利益 | 160 | 237 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 160 | 237 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | － | － |

## （３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成28年３月21日<br>至 平成28年９月20日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成29年３月21日<br>至 平成29年９月20日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 324 | 172 |
| 減価償却費 | 673 | 674 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △1 | △0 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | 72 | 43 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | △58 | △67 |
| 役員株式給付引当金の増減額（△は減少） | 20 | △1 |
| 受取利息及び受取配当金 | △42 | △42 |
| 支払利息 | 51 | 36 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △6 | △7 |
| 固定資産除却損 | 25 | 26 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 4 | △40 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △9 | 57 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 279 | 529 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △23 | △205 |
| 未払費用の増減額（△は減少） | 65 | 68 |
| その他 | 301 | 232 |
| 小計 | 1,676 | 1,475 |
| 利息及び配当金の受取額 | 32 | 32 |
| 利息の支払額 | △54 | △37 |
| 法人税等の支払額 | △103 | △230 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,550 | 1,238 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △9 | △9 |
| 定期預金の払戻による収入 | 12 | 11 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 25 | 111 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △488 | △585 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 4 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △21 | △12 |
| 差入保証金の差入による支出 | △79 | △34 |
| 差入保証金の回収による収入 | 262 | 164 |
| 預り保証金の受入による収入 | 6 | 0 |
| 預り保証金の返還による支出 | △13 | △35 |
| その他 | △14 | △32 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △320 | △417 |

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自 平成28年３月21日<br>至 平成28年９月20日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自 平成29年３月21日<br>至 平成29年９月20日） |
|---|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △215 | － |
| 長期借入れによる収入 | 215 | 600 |
| 長期借入金の返済による支出 | △763 | △1,506 |
| 社債の発行による収入 | 388 | 676 |
| 社債の償還による支出 | △79 | △619 |
| リース債務の返済による支出 | △105 | △111 |
| 自己株式の取得による支出 | △83 | 0 |
| 配当金の支払額 | △76 | △96 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △719 | △1,056 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 510 | △235 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,499 | 3,283 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,010 | 3,048 |

## （４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号　平成28年３月28日）を第１四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

前第２四半期連結累計期間(自　平成28年３月21日　至　平成28年９月20日)及び当第２四半期連結累計期間(自　平成29年３月21日　至　平成29年９月20日)

当社グループは、「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。